



入ると自然に興味がわく教室を小学校に作ろう！

～鎌ケ谷市立南部小学校における防災展示教室製作プロジェクト～



防災展示教室のお披露目会で南部小学校の児童が教室内を大学生と一緒に回っている様子

■協働パートナーの種別

| | | | | | | |
|-----|----|----|----------|----|----|-----|
| NPO | 地縁 | 社協 | 学校 大学 | 企業 | 行政 | その他 |
|-----|----|----|----------|----|----|-----|

■事業運営団体

- ・鎌ケ谷市市民生活部安全対策課
- ・淑徳大学地域共生センター

■協働パートナー

- ・鎌ケ谷市立南部小学校

計 1 団体

■事業費

5 万円（ほか、必要な物品は持ち寄りの形で実施）

■資金調達手段

運営団体負担（淑徳大学地域共生センター）

事業概要

鎌ケ谷市立南部小学校の空き教室を、鎌ケ谷市の防災備蓄倉庫を兼ねた「児童が自ら興味を持ち、知識が身につく防災展示教室」として、地域活動に関心があったり、小学校教員を志望していたりする大学生（5名）が主体的に製作するプロジェクトを2024年1月～3月にかけて実施しました。実施にあたっては大学生が主に教室づくりを、企画やコンセプトの検討、現場の調整などを鎌ケ谷市市民生活部安全対策課がそれぞれ担当し、役割を分担しつつ、ともに話し合いながら協働的に教室を作り、3月には同小学校の4～6年生を対象にお披露目会を行いました。

○協働までの経緯

- ・空き教室を防災備蓄物資の保管場所として提供を受ける中で、「児童・職員ともに学校に設置されている防災備蓄倉庫に何が入っているのか知らない」との意見があったことから、単に保管場所として使用するのではなく、備蓄品の展示を併せて行うことで、防災教育に役立つようなものにしたいと構想した。
- ・防災教育チャレンジプラン（内閣府）等を活用して、大学生が関わる防災教育に関する取り組みを行っていた淑徳大学に対し、鎌ケ谷市から協働という形で企画への参画を提案した。

○主な事業内容(年間スケジュール等)

- ①実施主体同士での企画内容に関する打ち合わせ（2023年11月～12月）
- ②大学生チームの募集・企画・製作活動（2024年1月～3月 全6回）
- ③防災展示教室お披露目会（2024年3月14日 南部小学校4～6年生の授業時間内に実施）

※その他、各回の終了後に実施主体の担当者間で振り返りと次回に向けたすり合わせを行った

📍 主な協働パートナーとの役割分担

【大学】淑徳大学地域共生センター…
大学生の募集・サポート、コーディネート、
必要な物品等の購入、教室製作、成果物の作成

【行政】鎌ケ谷市市民生活部安全対策課…
ワークのファシリテーション、全体の進行・調整、
南部小学校との調整、防災備蓄品の提供、ブース製作

【小学校】鎌ケ谷市立南部小学校…
教室の提供、学内でのお披露目会実施等調整

📍 協働事業によって生まれた成果

- ・大学生が児童に直接「ここでの経験を回りの友達や家族にも伝えてほしい」と語りかける場面も見られ、災害（東日本大震災）を経験した世代から次世代へ更に防災の意識を繋ぐ機会を得ることができた
- ・防災に対して「楽しかった」と児童から感想が上がるほど、ポジティブに学ぶ姿勢が身についた
- ・将来、小学校教員を目指す大学生が地域資源を用いて学校教育現場に関わる経験を積むことが出来た
- ・実際に備蓄している物資を展示することで、児童や職員が市の防災に対して興味を持つきっかけとなる空間を作ることができた

📍 今後力を入れていきたいこと

- 教室を今後も活用し、大学生から児童へ防災教育を地域から広げる機会をつくっていく。
- 備蓄品一つひとつの紹介、学校で地震が起きた場合の行動等、より児童に密接に関係する部分について解説の充実を図っていく。

♡ コラボのコツ!!

★コツ1

お互いの現場で一緒に作業する時間を作る

★コツ2

コミュニケーションをしっかり取る

★コツ3

コンセプトをきちんと共有する

コツに関するコメント

地域活動の経験も、年齢も、属性もバラバラな大学生と行政の担当者が協働的なマインドでプロジェクトを進めるために、第一に「同じ時間、同じ空間を過ごすこと」を重要視しました。作業中の会話などから価値観を共有しながら対話的な姿勢を築くことで、どちらかが一方的に作るのではなくお互いにリソースを持ち寄って教室を作ることができたと考えています。小学校にも好意的にご理解頂けたことで、現地での活動も当初より増やすことができ、南部小学校の校風や児童の雰囲気も大学生が理解しながら、目の前の児童に楽しんでもらうための教室づくりに集中できたこともよい効果を生みました。



別添様式 事例紹介用調書

協働事例プロフィール

【活動開始年】 2023 年 12 月

【活動の PR 手法】淑徳大学 WEB サイト(学生募集～お披露目会までの各回レポート掲載)

<https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00003832.html> (最終回)

<https://youtu.be/YHY-c7QYRqA> (動画)

【この事業で活用した補助金】 なし

【問い合わせ先】淑徳大学地域共生センター 担当者：大石 果菜

電話番号：043-265-7834 メールアドレス： tk-k-jimu@daijo.shukutoku.ac.jp



動画